

令和元年度第2回滝沢市社会教育委員会議（顛末書）

- 1 件 名 令和元年度第2回滝沢市社会教育委員会議
 2 日 時 令和2年2月26日（水）13：30から15：15まで
 3 場 所 ビッググループ滝沢大会議室
 4 出席委員

委員15人のうち13人の出席であり、規則第5条に基づき会議は成立する。

№	役職	氏名	所属など	出欠
1	議長	嶋野 重行	盛岡大学短期大学部 教授	○
2	副議長	高橋 弘美	滝沢市地域婦人協議会長	○
3	委員	菅野 道生	岩手県立大学 社会福祉学部 准教授	○
4	委員	松田 栄二	国立岩手山青少年交流の家 所長	○
5	委員	小向 和秀	日本赤十字社岩手県支部 J R C 担当	○
6	委員	下田 富幸	滝沢市自治会連合会長	○
7	委員	藤田 重治	滝沢市教育振興運動推進協議会長	○
8	委員	主濱 恵悦	滝沢市子ども会育成連合会長	○
9	委員	佐々木昭司	滝沢市芸術文化協会 副会長	○
10	委員	切金 一夫	滝沢市少年補導員連絡会長	○
11	委員	鍵本 桂	滝沢市商工会青年部 副部長	○
12	委員	小島 勝子	滝沢市レクリエーション協会会長	○
13	委員	大畑佳代子	滝沢市国際交流協会 事務局長	○
14	委員	木村 史彦	滝沢市小中学校長会（篠木小学校長）	○
15	委員	山口 恒司	滝沢市 P T A 連絡協議会長	○

5 出席職員

№	氏名	所属・役職など	担当分野
1	熊谷 雅英	教育長	—
2	長嶺 敏彦	教育次長	—
3	三浦 信吾	生涯学習スポーツ課長	—
4	小野 雅梯	文化振興課長（図書館長・埋蔵文化財センター所長）	—
5	横澤美保子	文化振興課 総括主査	図書館
6	井上 雅孝	埋蔵文化財センター 主任主査	文化財
7	細川 健一	生涯学習スポーツ課 主任主査	生涯学習 社会教育 スポーツ
8	福井 聡	生涯学習スポーツ課 主査	—
9	菅波啓司郎	文化振興課 主任	文化芸術
10	鈴木 伸空	生涯学習スポーツ課 主事	—
11	佐野 公平	生涯学習スポーツ課 主事	—

6 会議内容

(1) 開会

(2) 教育長あいさつ

(3) 議長あいさつ

(4) 議事

ア 報告

- ・令和元年度社会教育事業の進捗状況について

イ 協議

- ・令和2年度社会教育行政の方針と計画（案）について
- ・令和2年度社会教育関係等団体に対する補助金の交付について

(5) その他

(6) 閉会

7 質疑応答など

(1) 報告

委員 滝沢市の歩みが発刊されましたが販売状況はいかがでしょう。

事務局 2,000冊発刊し図書館や関係者などへの寄贈が1/4ほどでございます。残りの3/4に相当する1,400~1,500冊のうち在庫は800冊程度となっております。イベントの折にPR活動を展開しているところとなっております。

委員 実績報告ですが次回以降からは数値実績において昨年度と本年度比較ができるようにしてほしいです。

事務局 資料作成において工夫を凝らしていきたいと思っております。

議長 湖山図書館をリニューアル開館致しましたが入場者数などはどうなっていますか。

事務局 初年度はたくさんの皆さんがいらっしゃいましたが現在は落ち着いておりますが、かつての図書館の時に比べるとかなり賑っております。

委員 SDGsセミナーに約40人が参加し、約20人の若者（高校生と大学生）が参加したことは非常に画期的なセミナー開催と感じています。高校生は地球規模課題解決学習に関心が高いことが窺えます。来年度も継続開催を予定されており期待しております。

事務局 本年度から新たな視点に立ってSDGsセミナーを開催しマンネリ打破を図ることができました。来年度も継続して地球規模課題解決学習の展開を図って参ります。

(2) 協議

委員 学校体育施設開放事業ですが、私たち滝沢市国際交流協会でも活用できるものでしょうか。

事務局 後ほど学校体育施設開放事業担当と貴協会によるご相談の機会を設けたいと存じます。

委員 補助金交付案ですが議会審議に伴う減額の恐れはございますでしょうか。

事務局 議案としては確定し議会で審議させていただく段階となっております。

副議長 各資料に写真がレイアウトさせていますが次回よりキャプション設定をお願いします。また、広報たきざわやホームページにも積極的に掲載していただければと存じます。

委員 「地域とともにある学校づくり」や「学校を核とした地域づくり」と表記されているが具体的なことを説明願います。学校評議員制度を発展させた学校教育振興協議会を立ち上げたことは評価できますが、具体的な取り組みを今後、明確化してほしいです。

事務局 滝沢市ではコミュニティ・スクールを教育振興運動実践区に、学校運営協議会を従来の学校評議員制度を拡充された学校教育振興協議会に相当させ両輪による「地域学校協働活動」を展開しています。平成30年度より学校教育振興協議会を全小中学校に設置して年3回開催しながら「地域とともにある学校づくり」や「学校を核とした地域づくり」に関する協議を地域の皆さんと一緒にいながら具体的な取り組みについても今後進めていければと考えています。また、児童生徒が夏祭りやスノーバスターズなどを通じた地域活動における参画交流・活躍の場がございます。各地域や学校の現状に応じて具体化が進展されていくものと考えております。

委員 多種多様な事業と展開されるようですので私たち社会教育委員がそれぞれの役割を果たしながら市行政と地域、学校などの連携・協働を進めていければと存じます。

委員 滝沢市は新しく移り住む人たちが多く自治体です。今までの市民と新しい市民の皆さんの交流の場を増やしていくとともに学校との連携・協働を目指した地道な取り組みが重要であると感じています。

委員 地域活動における児童生徒の活躍の場づくりにもっと積極的に取り組んでいくことが大切であると感じました。

委員 地域の子どもたちを育てる活動において滝沢市の取り組みはとても素晴らしいと感じています。もっと素晴らしくなることができればと思います。

委員 チャレンジデーに関する説明・周知の徹底をもっと展開していければ成果はもっと挙がると感じています。

委員 学校と地域の連携・協働の一環としてチャレンジデーなどで自治会と一緒にスポーツ活動に取り組むなどの方法もあると思います。

委員 本日午前中には滝沢第二中学校での学校教育振興協議会が開催されスノーバスターズや清掃活動、避難訓練など地域と連携・協働した事業展開について協議しました。ただ、PTA参加率が低いのが課題ですので改善を目指しているところです。